

関東電化工業が、次世代の女性リーダー候補育成プログラム「Woman Meet up 2025」を実施している。全6回の選抜型研修で、月に1回の頻度で定期ラウンドテーブルを行う。3拠点から集まった幅広い年代の女性社員同士が交流することで人脈形成を促し、各自の体験や悩みを共有するのが狙い。また、交流を通じて各自が「自分らしいロールモデル」のイメージを持つこと、6カ月間で一歩ずつ前進し、終了後に成長を実感できることをゴールに設定した。第1回は本社会議室で開催され、外

次世代女性リーダー育成

関東電化が選抜型研修プログラム

部コーチの指導の下、参加者は活発な意見交換を行った。

関東電化工業は2025

各自がロールモデルを

間での交流が少なく、相談できる相手がいないなどの課題もあった。

今回のプログラムで

は、各自の職能資格に応じて意識するステージを設定。「チームリーダー」を意識する社員は、将来

的な幹部職をイメージしながらチームリーダーとしてのマインド・スキルをセットする。「幹部職」を意識する社員は、さらに現チームリーダーとしてのマインド・スキルを再認識する。



計6回のラウンドテーブルを通して体系的にスキルを身に付ける

具体的には、計6回のラウンドテーブルを通して体系的にスキルを身に付け、女性活躍推進を阻害する要因について基礎知識を習得し、職場で実践することで成功体験を得ることを目指す。6カ月間で自分の経験を振り返る「内省」、他の人と話し考えを深める「対話」、気づいたことを少しでも試してみる「行動」を重視していく。

第1回は、本社（東京都千代田区）、渋川工場（群馬県渋川市）、水島工場（岡山県倉敷市）の3拠点から、次世代の幹部候補として選抜された20人の女性社員が参

加。「ビジネスコミュニケーション」をテーマに個人ワークやグループワークを行った。コーチングメソッドを活用した人材育成プログラムを提供する、A&CO社がコーチングを担当。主観と事実を切り分けてコミュニケーションを取る手法や、自分と相手の双方を尊重しながら意見を交わすアサーティブコミュニケーションなどを指導した。

第2～6回はオンラインで実施し、「チームビルディング」や問いを立て、考える力をつける「コンセプチュアルスキル」などのテーマに取り組む。